

指定管理業務総合評価票

施設名	三豊市立高瀬南部保育所
指定管理者名	株式会社小学館アカデミー
施設所管課	健康福祉部保育幼稚園課
調査日時	令和8年6月17日（水）：13時30分～15時00分

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
1 実施体制	施設管理	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	A	A
	人員体制	仕様書等に従った人員（人数、有資格者）を配置しているか	A	A
		スタッフのシフトは適正であるか	A	A
		事業計画書に則した内容・頻度で教育・研修を実施したか	A	A
	利用料金	利用者からの料金徴収や現金管理等が適切に実施されているか	A	A
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切か	B	B
		外部委託事業者に対して協定書等を遵守させているか	B	B
	記録管理	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	A	A
		点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	B	B
	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか	B	B
	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	B	B
	危機管理	危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等をおこなっているか	B	B
		避難経路は適切に確保されているか	B	B
		事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか	B	B
	個人情報保護	個人情報等の管理は適切か	A	A
		個人情報保護に関する規定が整備されているか	A	A
		情報漏えいを防止する仕組みや対応策が講じられているか	A	A
	情報公開	情報公開に関する規定が整備されているか	B	B
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表しているか	B	B
	【1 総括】	実施体制に関する評価（標準19項目・本施設__項目）	B	B
	指定管理者の自己評価	当施設は、概ね協定書に従い適正な運営を行っております。また、配慮や支援を必要とする児童の受入れにあたっては、職員を適切に配置し、安心・安全に過ごせる体制を整えています。今年度は保育の質向上に向けて研修体制を強化いたしました。本部（東京）との連携を深め、施設長をはじめ、主任、中堅、新卒まで各層に応じたフォロー研修をリモートにて実施いたしました。さらに、三豊市の子育ての指針である「ななつのたから」を所内で継続・発展させていくため、松崎保育所初代所長による新人育成研修も松崎保育所と合同で継続して行い、地域に根ざした保育理念の継承と職員の育成に努めております。		
	施設所管課の評価	協定書に基づき適正な施設運営が行われている。支援を必要とする児童への対応についても、必要な体制整備に努めている。また、階層別研修や市の保育理念の継承に向けた人材育成を継続的に実施しており、保育の質の向上に取り組んでいることは評価できる。今後も引き続き、職員の専門性向上と安定的な保育サービスの提供をお願いしたい。		
2 サービス等の内容や水準	利用者対応	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	B	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	B	B
	利用案内	ホームページ、パンフレット等は見やすく、適宜更新されているか	B	B
		利用方法をわかりやすく説明できる仕組みが構築されているか	B	B
	利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	B	B
		利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか	B	B
	事業の実施	事業計画書に則し、指定事業を実施しているか	B	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	B	B
		各事業の参加者数は、計画どおりであるか	B	B
		参加促進への取組みを積極的に実施しているか	B	B
	環境への配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされているか	B	B
	苦情等の対応	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	B	B
	利用者への調	利用者満足度調査を実施し、その結果は妥当であるか	B	B

	査	利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	B	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生の点検・管理を適切に行っているか	B	B
		仕様書等に従い、施設、設備の点検・管理を適切に行っているか	B	B
		備品台帳により記録が適切に保管されているか	B	B
		市と指定管理者の備品が明確に区別されているか	B	B
		必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	B	B
	【2 総括】	サービス等の内容や水準に関する評価（標準19項目・本施設__項目）	B	B
3 収 支 等	指定管理者の 自己評価	今年度は、2歳児から5歳児への「ドラキッズ」導入に合わせ、0歳児から1歳児の保護者への子育て支援・サービス向上の一環として、新たに「おむつサブスク」を導入いたしました。これにより、登園時の負担軽減など、保護者の皆様に寄り添った保育環境の整備に努めました。 また、保護者が保育所での子どもたちの様子をより的確、かつ迅速にキャッチできるよう、情報発信の強化にも着手いたしました。これまではホームページのブログを中心とした紹介を行ってまいりましたが、次年度より新たに「Instagram（インスタグラム）」を加えた多角的な情報発信を開始いたします。今年度はその導入準備期間として、一通りのアカウント開設を完了させるとともに、職員を対象とした効果的な広報方法に関する研修を実施し、次年度からのスムーズな運用開始に向けた体制を整えました。		
	施設所管課の 評価	保護者の負担軽減を目的としたおむつサブスクリプションサービスの導入など、利用者サービスの向上に努めている。また、ホームページに加え、新たな情報発信手段の導入に向けた準備や職員研修を実施するなど、保護者への情報提供の充実に取り組んでいることは評価できる。今後も利用者ニーズを踏まえたサービス向上に期待したい。		
	経理事務	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	B	B
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	C	B
	予算執行	収支計算書に則し、適正に予算を執行しているか	B	B
	経費節減	計画どおりの経費節減の取組み、またはその他の取組を実施し、その効果があつたか	B	B
【4 総 合 評 価】	収支状況	事業収支は妥当であるか	B	B
	【3 総括】	収支等に関する評価（標準5項目・本施設__項目）	B	B
	指定管理者の 自己評価	独自の口座はありませんが、会計事務所と定期的に緊密な打ち合わせを行っており、当保育所分の収支を明確に区分した上で、「社会福祉法人会計基準」に準拠した適正な会計処理を行っております。これに基づき、毎期の収支報告等も適切に実施しており、財務管理の透明性と適正性の確保に努めております。		
	施設所管課の 評価	会計事務所の指導のもと、適切な会計処理を行うことができている。		
1～3の項目の総括による総合評価			B	B
5 （提案・成果・課題等）	指定管理者	今年度は、2歳児から5歳児を対象に「ドラキッズ」を新たに導入いたしました。これに伴い、専用の案内パンフレットを作製し、「探究心や知的好奇心を育む7つの力」や「プログラミング教育」といった先進的な取り組みを広く発信いたしました。また、地域の児童数が減少する中、当施設ならではの強みを打ち出すため、リトミック、体操、芸術士、お茶といった「プラスアルファの保育内容」を積極的にアピールし、他園との差別化を図りました。 入所対象を「生後3ヶ月から」としている強みを活かした結果、年度末における0歳児の在籍数は、前年度と同様に目標の15名を確保いたしました。これにより、次年度の児童獲得および継続利用に向けた確かな実績を残すことができたと考えております。 今後は、導入した「ドラキッズ」等のプログラムをさらに充実させるとともに、地域住民の皆様との交流機会を増やし、地域から継続して「選ばれる保育所」となるよう努めてまいります。		
	施設所管課	ドラキッズをはじめとする新たな取組や、施設の特徴を活かした広報活動を実施するなど、利用促進に向けた取組が行われている。また、0歳児の利用者数についても継続して確保できおり、その成果が認められる。今後も地域との連携を図りながら、魅力ある保育サービスの提供と安定した施設運営を維持していけるようお願いしたい。		

b

※評価区分

①評価基準	A（優良）：協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。 B（良好）：協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。 C（課題含）：協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。 D（要改善）：協定書、仕様書等を遵守しておらず、改善の必要な内容である。
②【総括】	A（優良）：評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である。

	B（良 好）：評価基準がすべて C 以上であり、かつ B 以上が 8 割以上である（上記以外）。 C（課題含）：評価基準がすべて C 以上である（上記以外）。 D（要改善）：評価基準に D が含まれている。
③総合評価	A（優 良）：【総括】がすべて B 以上であり、かつ A が 2 つ以上である。 B（良 好）：【総括】がすべて B 以上である（上記以外）。 C（課題含）：【総括】がすべて C 以上である（上記以外）。 D（要改善）：【総括】に D が含まれている。